

予 算 要 求 資 料

令和8年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：食品衛生指導費

事業名【新】中央食肉衛生検査所照明設備LED化改修工事設計委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 生活衛生課 食品指導係 電話番号：058-272-1111(内3418)

E-mail：c11222@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,051 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,051	0	0	0	0	0	0	0	4,051
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

中央食肉衛生検査所庁舎の照明機器は、平成3年3月施工当初の既存機器のままである。そのため、令和9年末に蛍光灯の製造・輸出入が終了すること、岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画において、全県有施設の照明を令和12年度までにLED照明へ更新することとしていることを鑑み、当所の照明機器を全てLED照明に変えることとし、エネルギー使用量の削減を図る。

令和9年度に実施設計から工事施行までを行う予定であったが、中東情勢の変化に伴い、資機材の納品に時間を要しており、現状のままで実施設計から工事までを単年度で完了させることが困難な見込となったため、今年度中に実施設計を行い、令和9年度に資機材の納品期間を十分に確保した期限で工事を行うこととしたい。

(2) 事業内容

中央食肉衛生検査所庁舎の照明設備LED化改修工事

ア 令和8年度 詳細実施設計

イ 令和9年度 工事施工

(3) 県負担・補助率の考え方

食肉衛生検査所は、県有施設であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	5	公共建築課事務費
燃料費	4	公共建築課事務費
委託料	4,042	実施設計
合計	4,051	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「第二期岐阜県県有建物長寿命化計画」(管財課)
- ・「岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画」(省エネ・再エネ社会推進課)

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度に中央食肉衛生検査所における照明設備LED化改修工事の詳細実施設計を行い、蛍光灯の製造・輸出入が終了する令和9年度中に工事を完成させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

設計委託であるため、指標設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	
令和6年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和7年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	蛍光灯の製造輸出入が令和9年末には終了すること。また、岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実施計画において、全県有施設の照明をLED化することとしていることから実施が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実施設計を基に、令和9年度に照明設備LED化改修工事を施工し完成させる。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

【〇〇課】